



こんにちは 聖隷ふじ太郎です。
2月になり暦の上では春になりましたがまだまだ寒い日が続いていますね。
みなさまも体調を崩されないよう暖かくしてお過ごしください。
今月は患者支援委員会におじゃましてみました。
それでは患者支援委員会お願いします。



初めまして！患者支援委員会です。
当委員会は、

- ① 患者さんごとに異なる現状の問題について話し合えるよう
病棟看護師への指導
- ② 認知症やせん妄についての理解を深める勉強会の実施
- ③ 患者さんと家族が人生の最期をイメージした意思決定ができるよう介入する

などの活動を行っています。

今回は③についてお話したいと思います。当院では人生の最期をイメージした意思決定に
アドバンスケア・プランニング(ACP)を用いて患者さんご家族の意思を確認しています。
皆さん、ACPについてご存じですか？

ACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは「人生会議」といい、

<人生の最終段階における医療・ケアについて、前もって考え、家族や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組>と厚生労働省が挙げているものです。

当院では想いをつなぐ「わたし」の希望書といい、地域包括ケア病棟に入院・転棟した患者様を対象にACPの記載を依頼しています。

心身の状態に応じて何度でも 繰り返し話し合いましょう



あなたが大切にしていることは何ですか？

話し合いの結果を大切な人たちに伝えて共有しましたか？

あなたが信頼できる人は誰ですか？

信頼できる人や医療・ケアチームと話し合いましたか？

命の危険が迫った状態になると
約70%の方が医療やケアなどを自分で決めたり望みを人に伝えることができなくなると言われています。

あなたの望む生き方を大切な人たちと話し合ってみませんか？